

■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原市立市民健康文化センター
指定管理者名	市民健康文化センター運営共同企業体(公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社明治スポーツプラザ)
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため (相模原市立市民健康文化センター条例第2条)
施設概要	・所在地 南区麻溝台1872-1 ・敷地面積 7,987.76㎡・建物面積 4,080.63㎡・延床面積 6191.22㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨(地下1階 地上2階) 1階 プール、浴室、多目的広場、多目的会議室1、カフェ 2階 多目的会議室2、茶室、講習室1・2・3、工作室(陶芸窯)、展示コーナー
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	292,988	83,399	147,733	205,863	223,696
利用料金合計(円)	47,164,171	14,533,689	28,588,160	41,145,825	45,016,418

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 13
	A	A	B	B	A		

※令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設休止の影響を考慮し、施設の開所日数や利用制限を踏まえ、目標値を修正した(令和2年度及び令和3年度における目標値の()内の数値は修正前の目標値)

指標1

指標名(単位)	プールの利用人数(人)
指標式と指標の説明	実績値(人)/目標値(人)×100

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	131,000	22,944 (132,000)	68,757 (133,000)	134,000	135,000
実績値(人)	125,792	31,287	60,451	87,070	97,149
達成度(%)	96.0%	136.4%	87.9%	65.0%	72.0%

指標2	
指標名(単位)	自主事業の参加人数(人)
指標式と指標の説明	実績値(人)/目標値(人)×100

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	26,500	4,417 (26,500)	13,515 (26,500)	26,500	26,500
実績値(人)	28,252	3,583	14,368	32,806	35,430
達成度(%)	106.6%	81.1%	106.3%	123.8%	133.7%

4 事業の実施状況

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	A	A	A		

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
(なし)		

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
(なし)		

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
健康増進のための空間づくりの事業	プール教室や体操教室等の事業(39事業)	参加者の健康増進に寄与した
文化の醸成・創造活動へのサポートの事業	装飾品の製作教室等の事業(8事業)	参加者の文化の醸成・創造活動へのサポートに寄与した
地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献の事業	ふれあい広場を活用した作品展示や近隣施設と連携したスタンプラリー等の事業(23事業)	風っ子展の作品展示などを通じて地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献に寄与した

5 利用者の満足度

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	C	B	B	A		11

利用者満足度調査	
調査手法	利用者へのアンケート調査
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値(%)	90.8	69.9	87.9	89.0	94.3
達成度(%)	100.9%	77.7%	97.7%	98.9%	104.8%

利用者意見の把握に資するその他の取組	
主な取組事項	取組内容
意見箱の設置	館内ご意見箱を設置し、センターに関する意見を記入していただく。月ごとにまとめ回答を作成し、同場所に回答書を設置。
教室アンケートの実施	参加教室に関するアンケートを実施。(文化教室のみ)教室終了時に回収。

利用者意見に対する対応	
主な意見	対応内容
コロナ禍で撤去した血圧計の設置を再開してほしい	浴室受付の階段付近に設置を再開した
バイクの駐車場をつくってほしい	車の駐車場入り口付近にバイク駐車場の区画を設置した
健文祭のようなイベントを増やしてほしい	屋内で開催するマルシェを開催した

6 施設の経営状況

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	B	S	A	C	C		11

施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	207,279	201,666	205,702	196,153	199,719
指定管理料	156,278	153,475	147,779	147,808	144,982
利用料金収入	47,164	14,533	28,588	41,145	47,237
その他の収入	3,837	33,658	29,335	7,200	7,500
支出 (b)	222,525	188,832	212,155	239,934	239,487
人件費	101,032	89,177	96,995	105,987	107,027
本社管理経費	8,850	8,602	8,781	8,879	8,609
その他の支出	112,643	91,053	106,379	125,068	123,851
本体事業収支 [(a)-(b)](c)	-15,246	12,834	-6,453	-43,781	-39,768
自主事業収入 (d)	19,585	5,633	15,051	23,268	26,787
自主事業支出 (e)	5,300	2,840	3,521	5,775	5,840
自主事業収支 [(d)-(e)](f)	14,285	2,793	11,530	17,493	20,947
全体収支 [(c)+(f)]	-961	15,627	5,077	-26,288	-18,821
備考					

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	無	無	有	無	無
主な加点内容			施設の老朽化が進む中、休所期間を活用し、プール地下ピットの躯体修繕等を実施する等、適切な維持管理に努めたことから加点するもの。		

8 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響があったため、約2年間、大きく制限がかかった中での管理運営となった。その中でも施設利用者を増やす取り組みとして「マルシェの開催」「自習室の無料開放」「教育委員会と連携したさがみ風っ子展の開催」「相武台小学校水泳授業の実施」など、新たな事業に積極的に取り組んだ。

また、施設が利用者の思い出に残ることをイメージし、お菓子の詰め合わせがもらえる「プール利用キャンペーン」の実施や「カップ麺の販売」などを行い、当該施設の在り方として大きな手応えを実感した指定管理期間となった。

9 所管課意見

- ・令和2～4年度にかけて感染症拡大により休所や利用制限が生じ、前例のない中で手探りの運営を余儀なくされた。そのような状況でも、適切な感染症対策を行いながら利用者への周知などにおいて柔軟に対応できた点は、これまで指定管理者として当施設を運営してきた実績や経験を十分生かされたものとして、一定程度評価できる。
- ・コロナ禍を経て利用者数がどの程度回復するかが懸念材料であったが、最終年度は施設全体の利用者数や利用料金収入、プール利用者数は大きく回復し、自主事業参加者数は指定管理期間中で最高となった。ただし、閑散期のプール利用促進に関しては課題も多く、年間を通しての利用につなげるためにも、さらなる周知や事業展開が必要と考える。
- ・学校プール授業の受入れやさがみ風っ子展の開催など、公共施設として子どもの育成に資する事業に取り組んだ点を評価する。
- ・当施設は、健文祭といったイベントに代表されるように、多くの人が集うことができる施設である。この特徴を活かし、キッチンカーの誘致やコスプレイベントの開催など、地域の交流拠点として幅広い活用につながるような新たな取組を実践した点を評価する。

10 選考委員会意見

- ・コロナ禍で迅速かつ柔軟に対応し、安心・安全な施設運営を継続したことに感謝する。また、コロナ禍や原油価格・物価高騰の影響により、経営状況が安定しない中、自主事業において収益を上げたことを評価する。
- ・コロナ禍後、外部環境が大きく変化した中で、施設のコセプトや設置目的に対して、改修当初は想定していなかった内容での利用も増えている。コスプレ団体による利用など、市民の新たなニーズを把握し、柔軟かつ積極的な創意工夫を行うなど新しい文化に注目して育てたことや、新たな層の利用につなげたことを評価する。
- ・利用者意見から把握したニーズを新規事業として具現化し、現運営においても継続しているなど、今後の運営の根本を形作ったことを評価する。

総合評価(自動判定)

B

(66/100)

